

高木 純子 氏 (石川県七尾市)



苗を買いに来た客と話す高木氏 (左)

・平成10年に石川県に移住。農産物の加工品を手掛ける有限会社にて新たに立ち上がった花壇用苗部門の責任者に抜擢され、経理、営業を担当し、苗生産コスト計算や販売予測等の経営感覚を身に着けた。

・平成16年、植物園を運営する七尾市内の会社に転職し、花き生産や体験教室、直売所部門の担当となるとともに、同社が経営する植物園で定期的に営業されていた農家レストランの運営に携わり、人や地域とのつながりを広げていった。

・平成26年4月、中能登地域初の苗専作農家として独立就農を果たした。

・就農当初は、花壇用苗や家庭菜園向け野菜苗の生産が主体であったが、高い技術力を見込まれ、地元JAからの要請もあり、野菜・花き農家向けの苗の販売を開始した。農家向け苗は小ロットからの受注、品種の希望についても可能な限り対応し、年間およそ20軒の農家に苗を届けている。現在、ホームセンター、JA直売所、農家向けに多品目の苗を受注生産している。

・地元町会等が行う花壇づくり、小学校のグリーンカーテン等の緑化活動に参画するほか、寄せ植えやフラワーアレンジメント教室の講師を引き受けるなど、花と緑の普及にも貢献。



タマネギの苗 (上) とパンジーの苗 (下)



ハウスに並ぶさまざまな苗

・七尾市、中能登町の農業者で構成される「ななか農業振興協議会」副会長、同女性部会長、「七尾鹿島フラワーメイツ」役員のほか、県組織「いしかわ農業振興協議会」女性部理事を歴任し、女性農業者のリーダーとして活躍。